境島村まちづくりビジョン

平成 27 年 3 月
令和 2 年 3 月一部改定
令和 5 年 8 月一部改定
令和 7 年 2 月一部改定

伊勢崎市境島村まちづくり推進会議

境島村まちづくりビジョン　目次

第１章　境島村まちづくりビジョンについて 1

１－１　策定の目的 1

１－２　位置づけ 1

１－３　目標年次 1

第２章　境島村の現状 3

２－１　境島村の強み・弱み・機会・脅威 3

２－２　境島村まちづくりで活用を検討したい地域資源 4

２－３　境島村まちづくりの方向性 5

第３章　境島村まちづくりの将来像 6

３－１　目標とする市民の姿 6

３－２　境島村を楽しむルール 7

第４章　境島村まちづくりの方針 11

４－１　境島村を有名にする・境島村の魅力を広く発信する 12

４－２　境島村に訪れやすくする 13

４－３　誰もが巡りやすい環境を整える 14

４－４　境島村で楽しめる体験の場を提供する 16

４－５　境島村での飲食・買物・滞在の魅力をつくる 17

４－６　養蚕農家のある郷土の景観を守る 19

４－７　絹産業遺産を保全し後世につなぐ 20

４－８　市民協働で地域力を高める 22

第５章　境島村まちづくりビジョンの推進 23

５－１　まちづくり活動の主体づくり 23

５－２　境島村まちづくりビジョンの進行管理 23

参考資料

１．　伊勢崎市境島村まちづくり推進会議 25

２．　伊勢崎市境島村まちづくり推進会議女性部会 32

３．　モニターツアー・団体ヒアリング 34

４．　来訪者アンケート調査 36

５．　伊勢崎市境島村まちづくり推進会議設置要綱 39

６．　まちづくり講座開催記録 41

第１章　境島村まちづくりビジョンについて

１－１　策定の目的

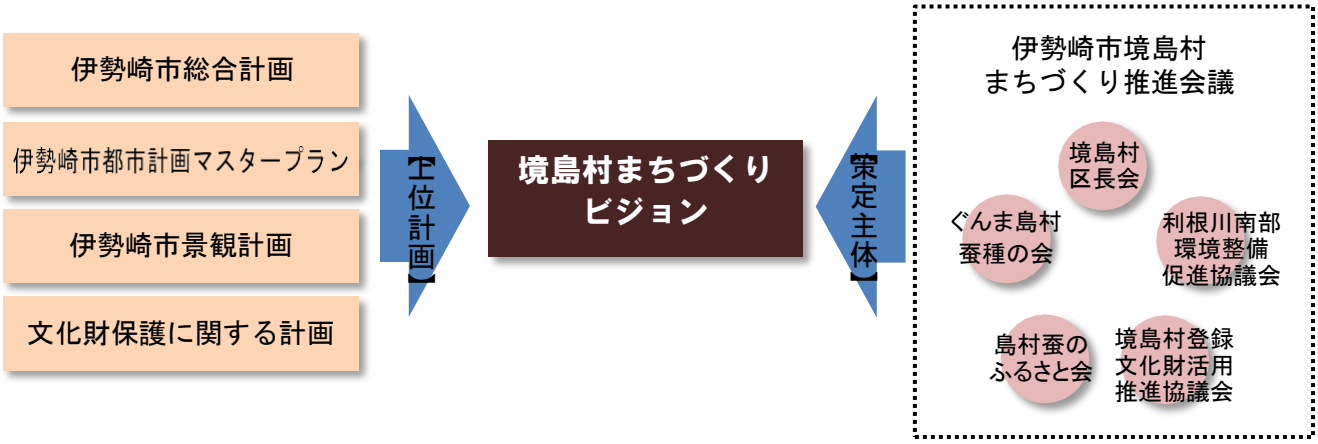
利根川の豊かな自然環境と養蚕農家群の歴史的な佇まいを残す伊勢崎市境島村では､伊勢崎市都市計画マスタープラン」等に基づき、歴史文化的な資源を活かしたまちづくりを進めてきました。この静かな住宅地・境島村に立地する田島弥平旧宅を構成資産とする「富岡製糸場と絹産業遺産群」が平成 26 年 6 月 25 日に世界遺産に登録され、これまでに受け入れたことのないような多くの来訪者が境島村に訪れるようになり、まちづくりを取り巻く状況は大きく変化しています。

境島村まちづくりビジョン（以下「本ビジョン」という。)は、世界遺産登録に伴う来訪者による影響を踏まえて、市民協働のまちづくりを推進するための指針となるように、地元住民の意向を把握し、境島村が目指す将来像」とその実現に向けた「まちづくりの取組み」を取りまとめたものです。

１－２　位置づけ

本ビジョンは、境島村の５つの区（新地区、新野新田区、立作区、北向区及び西島前河原区）の区長と境島村の団体役員（ぐんま島村蚕種の会、利根川南部環境整備促進協議会、島村蚕のふるさと会及び境島村登録文化財活用推進協議会）で構成される「伊勢崎市境島村まちづくり推進会議」が主体となり、市民団体や地元企業及び伊勢崎市と連携して取組むまちづくりの方向を示すものです。

また、まちづくりに関する上位計画である「伊勢崎市総合計画」、伊勢崎市都市計画マ　スタープラン」や「伊勢崎市景観計画」､また、田島弥平旧宅の文化財保護に関する計画等との整　合性や調整を図りながら推進するものです。



１－３　目標年次

将来像としては１０年程度先を見通して設定し、具体的なまちづくりの施策については、５年間で取組む内容とします。

なお、本ビジョンは、現時点の状況から検討し、取りまとめたものであり、田島弥平旧宅に訪

れる来訪者の状況やその影響等を踏まえながら、必要に応じて見直しを行うものとし、適切に運用していきます。

第２章　境島村の現状

２－１　境島村の強み・弱み・機会・脅威

境島村のまちづくりを取り巻く現状を把握するため、境島村の内部環境としての「強み」、弱み」､外部環境としての「機会」、脅威」をそれぞれ整理すると、下表のようになります。

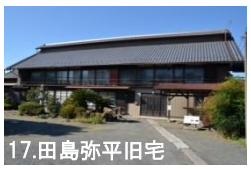
内部環境では、利根川の自然環境と養蚕農家の集積、そして住民気質が「強み」になっている一方で、利根川による地理的な分断により、公共サービスが利用しにくい点が「弱み」として挙げられます。また、外部環境では、静かな住宅地に来訪者が訪れることを「機会」と見ることもできますし、備えがなければ「脅威」にもなります。

■境島村のＳＷＯＴ分析

	好影響	悪影響
内部環境	**強み　Strengths** ◎**河川環境**：利根川、広瀬川の沿川には豊かな自然が残されています。土手からは広がりのある自然風景を望むことができます。 ◎**居住環境・養蚕農家群**：「やぐら」のある伝統的な養蚕農家が多く残されています。 ◎**住民気質・住民活動**：来訪者をもてなす意識が受け継がれています。住民組織によって、様々な活動が行われています。	**弱み　Weaknesses** ◎**人口減少・高齢化の進展**：境島村の住民は減少傾向にあり、高齢化率は高まっています。 ◎**少ない商業店舗**：住宅地の中には商業店舗（飲食・物販機能）が少ないです。 ◎**弱い交通基盤**：鉄道駅から離れており、路線バスも少なく、公共交通でアクセスしにくい地域です。 ◎**弱い医療・福祉機能**：利根川に分断されているため、市の医療・福祉施設を利用しにくい状況です。
外部環境	**機会　Opportunities** ◎**世界遺産登録**：平成 26 年６月 25 日に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録され、構成資産に多くの来訪者が訪れています。 ◎**渋沢栄一新紙幣発行**：新一万札発行により、近隣である深谷市への旅行需要が高まると考えられます。 ◎**国登録有形文化財（建造物）の登録：**境島村地区の養蚕・蚕種製造民家群保存に対する地元の機運が高まるとともに、文化財的価値がより広く発信されることが期待されます。	**脅威　Threats** ◎**開発行為による景観損失**：緩衝地帯内で大規模な開発が行われることによる、景観への影響が懸念されます。 ◎**来訪者による環境問題**：来訪者によるごみ、車の排気ガスなど、住環境の悪化が懸念されます。 ◎**プライバシー・治安**：住宅地に立ち寄ることによるプライバシーの侵害や事故・犯罪の発生が考えられます。 ◎**地域資源の喪失：**甚大化する自然災害、時代の変遷に伴う生活様式の変化等に影響され、地域資源の喪失が懸念されます。

２－２　境島村まちづくりで活用を検討したい地域資源

境島村の「強み」である利根川や養蚕農家群等は地域の誇りであり、今後のまちづくりにおいてもその活用を検討していきます。



２－３　境島村まちづくりの方向性

前述の現状分析から、以下の４点が境島村のまちづくりの方向性として導かれます。

①機会×強み＝強みで機会を活かす

②脅威×強み＝強みで脅威を克服する

③機会×弱み＝弱みを克服して機会を逃がさない

④脅威×弱み＝弱みを克服して最悪の事態を招かない

いずれも、来訪者の増加に対する備えに関わる取組となります。境島村に訪れる来訪者との交流や来訪者による地域消費の受け皿づくりを行うことによって、境島村の地域活力につなげていくことが今後の境島村のまちづくりでは重要となることが理解できます。

■境島村のまちづくりの方向性

	Opportunities　機会	Threats　脅威
	◎世界遺産登録 ◎渋沢栄一新紙幣発行 ◎国登録有形文化財登録	◎開発行為による景観喪失 ◎観光客による環境問題 ◎プライバシー・治安 ◎地域資源の喪失
Strengths　強み ◎河川環境 ◎居住環境・養蚕農家群 ◎住民気質・住民活動	**機会×強み** **～強みで機会を活かす～** ◎地域ガイドの充実 ◎交流の場の整備 ◎境島村の新たな魅力発信	**脅威×強み** **～強みで脅威を克服する～** ◎地元観光人材の育成 ◎地元資本の店舗開発 ◎地域資源の記憶の継承 ◎歩行ルート設定 ◎楽しむためのルール
Weaknesses弱み ◎人口減少・高齢化の進展 ◎少ない商業店舗 ◎弱い交通基盤 ◎弱い医療・福祉機能	**機会×弱み** **～弱みを克服して機会を逃がさない～** ◎土産品販売 ◎飲食物の提供 ◎バスの運行 ◎レンタサイクル	**脅威×弱み** **～弱みを克服して最悪の事態を招かない～** ◎交通規制 ◎駐車場の整備

第３章　境島村まちづくりの将来像

３－１　目標とする市民の姿

住民が誇りと自信を持って暮らし続けられるようにすることが、まちづくりの大きな目標となります。境島村の住民が大切にしてきた利根川の自然、養蚕農家群のある景観、相手の気持ちに寄り添うもてなしの流儀をはじめとする「境島村流の暮らしぶり」は、田島弥平旧宅に訪れる来訪者にとっても惹きつけられる地域の魅力になります。

このような境島村の魅力資源を保全・活用するとともに、訪れやすく、巡りやすい地域にすることで来訪者との交流を促します。また、地元住民による『境島村流のおもてなし』に努めることによって、住んでいる人、訪れる人がみんなで楽しめる地域を目指していきます。

境島村流のおもてなし

島村気質
家に寄ってもらう/目線は低く

もてなしの流儀
挨拶は丁寧に/家でお茶を出す
相手の気持ちに寄り添う

地域の将来像

訪れやすい地域
公共交通の整備

楽しめる地域
都会ではできない体験

絹産業の歴史・伝統
海外の文化を取り入れた村
歴史を自慢できる/養蚕技術
昔から続く建物･雰囲気

巡りやすい地域
歩いて回ると楽しい

元気な市民
シニアが活躍/若い人が住む
子供が帰ってくる･増える

養蚕農家のある郷土の景観
豊かな自然/養蚕農家の保存
のどか/歴史と花と緑

目標とする市民の姿

境島村流の暮らしぶりをみんなで楽しむ

境島村の住民が自信と誇りを持つ境島村流の暮らしぶりの流儀を、地元住民のみならず来訪者も含めてみんなで楽しめるようにする

３－２　境島村を楽しむルール

田島弥平旧宅は、現在も住宅として利用されている世界遺産であり、周辺の住宅も含めてプライバシーの侵害や治安の悪化で暮らしぶりに悪影響が出ないように配慮する必要があります。また、来訪者への配慮としても、世界遺産としての魅力を充分に理解できるように、利用ルールを定めることは効果的と考えられます。

地元住民の意向を踏まえ、境島村を楽しむルールを以下のように設定します。

ルール1　車でお越しの際は、田島弥平旧宅から少し離れた所定の駐車場に止めましょう

【ルールの内容】

田島弥平旧宅の近くには駐車場はありません。多くの方にご利用いただけるように、車でお越しの際は、利根川近くの無料駐車場（島村蚕のふるさと公園・田島弥平旧宅案内所（旧境島小学校内）をご利用ください。

駐車場位置図

【考え方】

公共交通機関が弱い境島村では、来訪者の約９割が自家用車を利用しており、駐車場の確保と車両の誘導が大きな課題となっています。現在は、田島弥平旧宅から少し離れた「島村蚕のふるさと公園」の駐車場へサイン及び警備員による誘導を行なっており、大きな混雑はありません。

多くの来訪者は、目的地に最も近い場所に止められるように、ナビゲーションシステム等で駐車場を探していると考えられますが、田島弥平旧宅前での駐停車や集落内への車の侵入による交通渋滞や事故を防ぐため、島村蚕のふるさと公園」や「田島弥平旧宅案内所」への駐車を呼び掛けます。

ルール2　養蚕農家群の田園風景や、利根川の自然風景を楽しみましょう

【ルールの内容】

田島弥平旧宅だけ見て帰るなんてもったいない。地元自慢の「タイムスリップしたような養蚕農家群の田園風景」と「利根川の自然風景」もお楽しみください。

養蚕農家群の田園風景

利根川の自然風景

【考え方】

来訪者の主な目的地は田島弥平旧宅ですが、田島弥平旧宅を見学するだけで境島村の暮らしぶりを理解することは困難です。少しでも境島村への理解を深めてもらえるように複数の地域資源に足を運んでもらい、境島村の暮らしぶりに触れてもらうことが重要です。特に養蚕農家が数多く残されていることや、利根川の開放的な景色については地元自慢の地域資源として積極的に案内します。

ルール3　集落内の細い街路は、歩いて楽しみましょう

【ルールの内容】

境島村の魅力を満喫できるコースでは、車のすれ違いができない細い道を通ることになります。また、歩かないと見どころを見落としてしまうかもしれません。集落内を見学するときは、歩いて楽しみましょう。

集落内の小路

【考え方】

ルール１で駐車場に案内し、また、田島弥平旧宅周辺の細い街路に侵入する交差点には、「進入禁止」の看板が設置されていますが、見落としたり、誤って来訪者の車両が集落内に進入することも考えられます。

歩いて楽しむことを案内する狙いは、主に事故防止や地元住民の車両通行に支障を来さないことにありますが、細い街路の散策が魅力要素になっていることを情報発信する手段としても効果が期待できます。

また、必要に応じて田島弥平旧宅案内所でレンタサイクル「島チャリ」もご利用いただけます。

ルール4　はじめてお越しの方や、大勢でお越しの方は、ガイドと一緒に回りましょう

【ルールの内容】

世界遺産「田島弥平旧宅」を見るだけではなく、まずは、田島弥平旧宅案内所を訪ねましょう。解説ガイドやビデオ上映により、世界遺産の価値をより理解できます。

田島弥平旧宅案内所での
ガイドの様子

【考え方】

市民を対象にしたモニターツアーでは、案内所の解説がないと田島弥平旧宅の価値は理解しにくいことが指摘されています。ビデオ上映やガイドの解説によって、境島村の歴史や田島弥平の偉業を知ることができ、実際に田島弥平旧宅を見たときの印象が全く異なります。

現状は「島村蚕のふるさと公園」から直接、田島弥平旧宅に訪れている来訪者が大半ですが、より満足度の高い滞在となるように、案内所への立寄りを呼び掛けます。

ルール5　個人宅を見学するときは、敷地の外から見学しましょう

【ルールの内容】

境島村の養蚕農家の多くは、住宅として現在も使われています。お住まいの方のプライバシーを守るため、見学するときは、塀や生垣、門などの敷地の外側から見学しましょう。

個人宅は敷地の外から
見学しましょう

【考え方】

養蚕農家の見学では、プライバシーの確保及び防犯の観点から、敷地内に立ち入ることを禁止とします。田島弥平旧宅では、敷地内に自由に立ち入ることができる時間帯が設定されているため、他の養蚕農家も同様に見学できると誤解される可能性があります。ガイド付の散策ツアーや田島弥平旧宅の見学を除き、敷地内への立ち入りを禁止していることを周知します。

ルール6　地元住民の方とお会いしたら、挨拶をして笑顔で会話を楽しみましょう

【ルールの内容】

集落内の散策で地元住民の方と出会ったら、ぜひ声をかけてください。境島村では、来訪する皆さんと笑顔で会話し、交流できることを楽しみにしています。

地元住民の方と笑顔で
触れ合いましょう

【考え方】

訪れた地域での住民との触れ合いは、旅の大きな魅力の一つです。地域住民との触れ合いを求めて境島村に訪れる人が気軽に声をかけられるように、境島村では、地域を案内するガイドや案内所のスタッフだけでなく、一般住民も含めて「境島村流のおもてなし」を展開していることや、地域全体で来訪者を歓迎していることをアピールしていきます。

ルール7　伝統的な家屋を守るために、たばこなどの火気の使用には気をつけましょう

【ルールの内容】

養蚕農家は木造建築のため、火にとても弱いです。これまで受け継いできた伝統家屋をこれからも守るために、たばこなどの火の扱いには十分に気をつけましょう。

【考え方】

観光地としての知名度が高まり、様々な人が訪れるようになると、利用者のマナーを高いレベルで保つのが難しくなります。構成資産を保護する上で、境島村で最優先すべきルールは「たばこのポイ捨て禁止」です。

外国人の来訪者が増えても理解できるように、日本語の案内のみならず、ピクトグラム等で誰でも分かる案内を行い、火気に関する利用マナーの理解を促します。

ルール8　集落の美しさを守るために、自分で出したごみは持ち帰りましょう

【ルールの内容】

境島村の集落には、ごみ箱は置いていません。集落の美しさ、居心地の良さを守るために、自分で出したごみは持ち帰りましょう。

【考え方】

観光地では、ごみ処理も大きな問題になっています。自動販売機で飲み物を販売すると、空き缶やペットボトルのポイ捨てが増える可能性が高まりますが、集落環境を美しく保つために、住民による地域清掃活動を行うとともに、利用ルールとしてゴミの持ち帰りを呼び掛けます。

第４章　境島村まちづくりの方針

境島村流の暮らしぶりをみんなで楽しめるように、８つの方針に基づいて、まちづくり施策に取組みます。なお、具体的な施策は、次頁以降のとおりです。

方針１　境島村を有名にする・境島村の魅力を広く発信する

田島弥平旧宅をはじめとする境島村の魅力を多くの方に認知してもらえるように、田島弥平旧宅のPRキャラクター「くわまる」やロゴマークの活用を進めます。また、関係機関と連携し、様々な媒体で地域情報を発信します。

方針２　境島村に訪れやすくする

境島村に行きたいと思った方が、便利で快適に現地まで移動できるように、自動車向けの駐車場案内を分かりやすくします。また、自家用車以外の交通手段を充実させます。

方針３　誰もが巡りやすい環境を整える

境島村に訪れた方が、分かりやすく楽しみながら地域を巡れるように、ガイドや見学ルート設定等の現地案内の仕組みづくりや休憩施設等の環境整備を進めます。

方針４　境島村で楽しめる体験の場を提供する

田島弥平旧宅をはじめとする養蚕農家群を歩いて見学する楽しみに加えて、来訪者に様々な楽しみの場を提供できるように、境島村ならではの体験プログラムを充実させます。

方針５　境島村での飲食・買物・滞在の魅力をつくる

来訪者にゆっくりと滞在し、境島村の魅力を味わってもらえるように、飲食・物販機能を充実させ、地元住民によるおもてなしを展開していきます。

方針６　養蚕農家のある郷土の景観を守る

田島弥平旧宅を含む養蚕農家のある郷土の景観を守るため、伊勢崎市景観計画に定められている方針に基づき、景観阻害要素の規制・除去や良好な景観形成に向けた取組みを進めます。

方針７　絹産業遺産を保全し後世につなぐ

田島弥平旧宅を世界遺産の構成資産として後世に引き継げるように、資産を保護し、保存管理を行う体制を整えます。

方針８　市民協働で地域力を高める

市民協働でまちづくりの取組みを実践できるように、推進体制を整え、充実させていくことで、徐々に地域力を高めます。

４－１　境島村を有名にする・境島村の魅力を広く発信する

【方針】

田島弥平旧宅をはじめとする境島村の魅力を多くの方に認知してもらえるように、田島弥平旧宅のＰＲキャラクター「くわまる」やロゴマークの活用を進めます。 また、関係機関と連携し、様々な媒体で地域情報を発信します。

【施策】　●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績

①地域情報発信の充実

●ホームページの活用

・田島弥平旧宅に関する基本情報の他、イベントや物産など季節によって更新される情報等を収集し、ホームページの内容を充実させる。

・関係機関のホームページとの相互リンクを充実し、情報検索の利便性を高める。

●ＰＲキャラクター等の活用

・「くわまる」や田島弥平旧宅のロゴマークを活用した情報発信を 積極的に展開する。

◎境島村を舞台にした映像作品の誘致・制作の検討

・映像作品を通じて境島村の知名度を高められるように、フィルムコミッション等のロケ誘致活動やアニメ作品の制作について検討する。

くわまる

ロゴマーク

②資産の魅力の発信

●資産の現地見学会の実施

・マスコミ関係機関を対象に現地見学会を実施し、テレビ、雑誌等の情報発信力の高い媒体での露出度を高めていく。

●資産を守ることに対する来訪者の意識醸成と啓発

・ホームページやパブリシティを有効活用した情報提供を行うとともに、講演会や現地案内を通じて意識醸成及び啓発を推進する。

③関係機関との連携強化

●地域住民や関係機関との連携による普及活動

・境島村まちづくり推進会議を通じて地域住民や関係機関との連携を図り、田島弥平旧宅を活用したまちづくりや各種キャンペーン等の普及活動について検討する。

●学校教育との連携

・学校教育を通じて境島村や田島弥平の業績についてより一層認識できるように、小学校社会科副読本等の教材との連携や学習環境の充実を図る。

●生涯学習との連携

・境島村の養蚕文化や世界遺産「田島弥平旧宅」をテーマとする展示会等を開催する。

・境島村の文化遺産や世界遺産の構成資産について、市民への出前講座を実施する。

●周辺自治体と連携した地域情報発信

・埼玉県本庄市、深谷市及び熊谷市と連携を図り、ホームページ等で地域情報発信等のＰＲ活動を共同で展開する。

④「ぐんま絹遺産ネットワーク」の活用

●「ぐんま絹遺産ネットワーク」をはじめとした絹に関する情報の収集・公開

・群馬県と連携し、「ぐんま絹遺産ネットワーク」をはじめとした絹に関する情報の収集・公開を推進する。

●「ぐんま絹遺産ネットワーク」に関連する教育・普及活動の推進

・群馬県と連携し、「ぐんま絹遺産ネットワーク」に関連する教育・普及活動を推進する。

４－２　境島村に訪れやすくする

【方針】

境島村に行きたいと思った方が、便利で快適に現地まで移動できるように、自動車向けの駐車場案内を分かりやすくします。また、自家用車以外の交通手段を充実させます。

【施策】　●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績

①駐車場の適正配置と誘導

●来訪者・車両等の導線を考慮した、適切な誘導表示の設置

・富岡製糸場と絹産業遺産群等の広域周遊観光に対応した、車両向け誘導サインの充実を図る。

※交通集中時の適切な規制誘導や情報提供体制の整備

※境島村の収容力の検討と駐車場の適正配置

※空き地を活用した駐車場整備の検討

②公共交通の充実

●公共交通（シャトルバス、巡回バス等）の広域連携を含めた運行体制整備

・埼玉県本庄市及び深谷市と連携したバス運行体制を検討する。

●シャトルバスの利便性の向上

・東武伊勢崎線境町駅と境島村を結ぶシャトルバスについて、停留所の位置、運行時間、ルートの最適化を図り、利便性を高めていく。

●レンタサイクルシステムの充実

・「島チャリ」の利便性を高めるため、貸し出し場所及び利用方法の拡充について検討する。

レンタサイクル「島チャリ」

４－３　誰もが巡りやすい環境を整える

【方針】

境島村に訪れた方が、分かりやすく楽しみながら地域を巡れるように、ガイドや見学ルート設定等の現地案内の仕組みづくりや休憩施設等の環境整備を進めます。

【施策】　●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績

① 観光案内窓口の強化

●中核的ガイダンス施設の設置に向けた調整

・田島弥平旧宅案内所及び公開を開始した桑場、上段の間の来訪者の評価を把握しながら、ガイダンス内容の充実化を図る。

※ガイダンス施設の整備

・田島弥平旧宅案内所を活用し、来訪者への解説やガイドを実施するとともに旧境島小学校校舎へ移転する整備を行う。

●セカイト及び各構成資産窓口との連携

・令和２年４月にオープンした群馬県立世界遺産センター（通称セカイト）と連携し、世界遺産観光案内推進や各構成資産窓口との連携を図る。

②見学モデルコースの整備

●見学モデルコースの設定・周知

・既存の見学モデルコース（約１時間コース、約３０分コース）について、案内板やパンフレット等で周知を図る。

・関係機関と連携して新たなモデルコースを設定し、各種情報媒体を通じて来訪者に周知する。

●見学モデルコースの整備

・設定した見学モデルコースにおける未舗装区間については、景観面での調和や来訪者の安全性や快適性等に配慮し、舗装等の整備を行う。

●広域観光ルートの設定

・関係機関と連携し、市内周遊、本庄・深谷周遊、構成資産の周遊など、多様な広域観光ルートを検討する。

③現地案内サイン・パンフレット類の充実

●構成資産共通の案内板、サインの整備

・来訪者が効率的に構成資産を周遊できるように、「富岡製糸場と絹産業遺産群」公共サイン表示に関するガイドライン』や伊勢崎市景観計画に適合した案内板、誘導サイン等の設置を推進する。

●各種ガイドブック、パンフレット、マップ類の作成・配付

・境島村の魅力や田島弥平旧宅の価値を分かりやすく伝えられるように、各種ガイドブック、パンフレット、マップ類の充実を図る。

●広域観光ルートに基づく案内板、サイン、マップ類の充実

・構成資産と関連する施設を効率的に周遊できるように、ルートを示す案内板、誘導サイン、マップ類の充実を図る。

案内板

パンフレット等での周知

④ガイド機能の強化

●解説ガイドの養成

・市民団体やガイド組織等と連携し、解説ガイドの研修会を実施し、ガイドの養成を図る。

●多言語対応の案内・解説機能整備

・外国人の来訪者に対応したガイドが行えるように、パンフレット類の多言語化、スマートフォンを活用したガイドシステム等を導入し、利便性を高めていく。

⑤休憩施設の整備

●休憩施設、トイレ等の便益施設や管理施設の整備

・境島村を歩いてのんびりと滞在できるように、見学モデルコースの各所に休憩施設やトイレ等の便益施設の整備を推進する。

・柴﨑医院跡地にトイレの整備を検討する。

島村蚕のふるさと公園の多目的トイレ・総合案内板

⑥見学ルールの設定

●見学ルールの検討と来訪者への周知

・８つの境島村を楽しむルールについて、パンフレット等を作成し来訪者に周知する。

●来訪者への挨拶と見学マナーの呼びかけ

・地域全体で来訪者を歓迎できるように、８つの境島村を楽しむルールを地元住民にも周知し、来訪者への挨拶や見学マナーの呼びかけを行う。

４－４　境島村で楽しめる体験の場を提供する

【方針】

田島弥平旧宅をはじめとする養蚕農家群を歩いて見学する楽しみに加えて、来訪者に様々な楽しみの場を提供できるように、境島村ならではの体験プログラムを充実させます。

【施策】　**●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績**

①体験プログラムの充実

●養蚕関連の体験プログラムの充実

・来訪者をもてなす体験メニューとして、機織り、ざぐり、養蚕、まゆクラフト等の養蚕関連の体験を取り入れたプログラムのラインナップを充実させる。

◎農業体験プログラムの充実

・境島村で生産されている農産物を販売するだけでなく、滞在する魅力の一つとして、農産物の収穫などの体験プログラムの実施を検討する。

◎暮らしぶり体験プログラムの充実

・養蚕農家での暮らしぶりに触れることで、境島村に対する理解を深めてもらえるように、そば・うどん打ちなど、生活文化の体験プログラムを検討する。

◎「ぐんま絹遺産ネットワーク」を活用した体験プログラムの実施

・群馬県と連携し、「ぐんま絹遺産ネットワーク」を活用した養蚕製糸から織物までを含む体験プログラムを実施する。

座繰り体験の様子

②展示機能の充実

●郷土資料展示機能の充実

・境島村における蚕種製造について理解を深めてもらうため、受け継がれてきた郷土資料を掘り起し、田島弥平旧宅案内所の展示機能の充実や新たな展示施設の整備について検討する。

●受け継がれてきた農具、資料等の活用

・養蚕農家等で保管されている農具や歴史資料を継続的に収集し、展示施設やイベント等での有効活用を検討する。

◎島村渡船の記憶継承

・地域に存する島村渡船に関する資料の収集と、展示スペースの整備を検討する。

③花火大会の開催

※花火大会の開催

・集客・ＰＲイベントとして、花火大会の開催を検討する。

④各種イベントの開催

●島村自然フェスタの開催

・利根川を中心とした自然豊かな環境を受け継いでいくための島村自然フェスタを開催する。

●世界遺産登録記念事業（周年フェスタ）の開催

・地元住民により開催される世界遺産登録記念事業（周年フェスタ）を継続して開催する。

４－５　境島村での飲食・買物・滞在の魅力をつくる

【方針】

来訪者にゆっくりと滞在し、境島村の魅力を味わってもらえるように、飲食・物販機能を充実させ、地元住民によるおもてなしを展開していきます。

【施策】　●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績

①飲食機能の充実

●カフェスペースの整備

・境島村おもてなし広場等のスペースにおいて、ゆっくりと くつろげるカフェ機能の導入を検討する。

●飲食施設の整備

・焼きまんじゅう、おっきりこみ、つめりっこ等の郷土食を提供する店舗の誘致や整備について検討する。

◎「軒先カフェ」の実施

・養蚕農家等の民家の縁側を活用し、来訪者へお茶等でもてなし、交流を深めるため、軒先カフェの実施を検討する。

②物販機能の充実

●物販施設の整備

・境島村おもてなし広場等のスペースにおいて、島村蚕のふるさと会などによる農産物や土産品等の物販機能の充実を図る。

●お土産品の開発

・くわまるキャラクターグッズ、ロゴマークグッズ、桑茶、桑の葉クッキー、絹製品、まゆ製品など、境島村ならではの商品開発を推進する。

●農産物加工品等の開発

・境島村の物産や食についてモニター調査を行い、土産品や農産加工品、ご当地グルメなどの新商品開発を進める。

境島村おもてなし広場

③宿泊・滞在機能の充実

◎農家民泊

・養蚕農家を活用し、宿泊・滞在することが目的となるような宿泊機能を提供できるようにする。

◎キャンプ場の整備

・豊かな自然環境を活かした、デイキャンプ場の整備について検討する。

◎広域連携による宿泊機能の強化

・宿泊機能が充実している伊勢崎市中心部や埼玉県本庄市及び深谷市等と連携し、広域で宿泊機能をカバーする。

４－６　養蚕農家のある郷土の景観を守る

【方針】

田島弥平旧宅を含む養蚕農家のある郷土の景観を守るため、伊勢崎市景観計画に定められている方針に基づき、景観阻害要素の規制・除去や良好な景観形成に向けた取組みを進めます。

【施策】　●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績

①土地利用の誘導

●資産周辺における開発行為の適切な誘導

・周辺の環境に適した建築行為や開発行為に向け、規制・誘導を行い、魅力ある良好な景観の形成を推進する。

●資産周辺地の活用

・今後の周辺環境整備に向けて、資産周辺地を活用するとともに、公有化が必要な場所については、公有化を推進する。

◎人口増に向けた土地利用の検討

・人口増に向けて、耕作放棄地や空き家・空き地の有効活用を検討する。

②景観阻害要素の規制・除去

●違反広告物のパトロールの強化・除去

・景観形成型広告物整備地区内の屋外広告物の適正化のため、定期的なパトロール実施と違反広告物の除去指導を行う。

●景観阻害要素の緩和除去

・景観計画の変更により新たに既存不適格となった物件等については、景観重点区域、景観形成型広告物整備地区の基本方針、基準に適合するよう、物件等の改修時に適正化を図るなど、緩やかな規制・誘導を行う。

③良好な景観形成に向けた取組みの推進

●耕作放棄地を活用した景観作物の栽培

・魅力的な養蚕農家のある郷土景観を維持していくため、耕作放棄地では景観作物の栽培を推進する。

◎道路・河川等公共施設の景観形成

・公共施設の整備にあたっては、計画段階から地域住民の意見を反映するとともに、周辺環境に配慮した整備を行う。

◎住民による景観協定締結への支援

・景観まちづくりに対する市民、事業者の関心を高めるため、地域住民が主体に行う景観啓発などの活動を支援する。その結果、地域住民の合意形成ができ、要望があれば、景観協定の締結について支援する。

◎景観に配慮した修景費用に対する助成

・景観に配慮した修景費用に対する助成制度の導入について、先進自治体の実施状況等

を調査、研究する。

●景観形成に寄与する建築物・工作物等に対する表彰

・「景観まちづくり表彰」を継続して実施することにより、市民や事業者の意識啓発を図りつつ、魅力ある景観まちづくりを推進する。

◎景観形成に向けたスポンサー制度の検討

・企業・団体・市民等からの協賛・協力により、景観形成に向けた取組みを推進するスポンサー制度の導入を検討する。

※景観重要建造物の指定

・境島村地区の大型養蚕農家について、歴史・文化的な価値を有し、地域の景観形成上重要であると認められる建造物が指定される景観重要建造物への指定を推進する。

④環境美化活動の推進

●地域の清掃活動の推進

・地元住民による地域の清掃活動を継続的に実施する。

●花による景観形成活動の推進

・沿道の花壇や個人宅の庭への花による修景を推進する。

植栽による沿道修景

４－７　絹産業遺産を保全し後世につなぐ

【方針】

田島弥平旧宅を世界遺産の構成資産として後世に引き継げるように、資産を保護し、保存管理を行う体制を整えます。

【施策】　●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績

①資産の保護

●資産の適切な保存管理・防災対策の実施

・田島弥平旧宅保存管理計画及び田島弥平旧宅整備基本計画に基づき、資産の修復整備、防災対策を推進する。

・柴崎医院跡地に防火水槽の整備を検討する。

●田島弥平旧宅の公有化の検討

・将来、所有者の公有化同意の申し出があった場合、群馬県、文化庁と協議し公有化に対応する。

②資産を保全するための情報収集と整理

●構成資産を核とした絹や関連遺産に関する情報の収集

・群馬県の世界遺産センターや各自治体、博物館、大学等の研究機関と連携し、田島弥平旧宅をはじめとした「富岡製糸場と絹産業遺産群」の各構成資産に関する学術研究や情報収集に努める。

●構成資産に関する継続的な基礎的学術研究の実施

・史跡の整備計画、個々の建造物の修復整備計画を立案するに先立って、十分な情報を得るための調査を実施する。

③顕著な普遍的価値の伝達

●公開範囲の拡充

・建造物の破損状況の詳細調査や耐震診断をもとに修復を行い、条件が整った時点で内部の公開を検討する。

●学術調査成果の発表会、講演会等の実施

・田島弥平旧宅の価値を伝えるため、シンポジウム、住民向け説明会、専門会による講演会、現地説明会等を実施する。

田島弥平旧宅のやぐらの内部

④保存管理を行う体制の整備

●保存管理に関する地域住民、関係団体相互、及び行政組織との連携強化

・資産の保存管理と地域のまちづくりの推進に向けて、地域住民、関係団体及び行政組織との連携を強化する仕組みづくりを推進する。

・所有者の生活に配慮するとともに、構成資産の一体的理解促進のための公開、活用環境の整備を群馬県や関係市町と連携して推進する。

●各種パトロールの強化

・来訪者へのアンケート調査やパトロールを通じて問題点を把握し、改善と整備を行う。

●関係者による巡視体制の整備

・資産の保全のための保存管理計画に沿って、所有者や行政以外の目による緻密な巡視、管理体制をとり、緊急事態に対応する計画を推進する。

◎保存管理に対する支援の充実

・養蚕農家の保存管理に対する支援制度の導入を検討する。

４－８　市民協働で地域力を高める

【方針】

市民協働でまちづくりの取組みを実践できるように、推進体制を整え、充実させていくことで、徐々に地域力を高めます。

【施策】　●実施中（継続）　◎今後の取組　※実施済・実績

①おもてなしの展開

●住民との連携による、来訪者へのおもてなし活動の推進

・来訪者が再度訪れたくなる地域となるように、境島村全体で来訪者をもてなす意識の醸成を図る。また、おもてなし活動を推進するとともに、活動を継承していく。

●広域連携によるおもてなし活動の推進

・外国人を含む東京圏からの旅行先として、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の各構成資産が選ばれるように、関係自治体と連携し、おもてなしの質を高めていく。

②事業推進体制の充実

●住民組織の連携強化

・まちづくりに関わる事業が円滑に推進されるように、定期的に情報交換の場を設けるなど、住民組織の連携を強化する。

●事業を推進する組織の充実

・地域ぐるみでまちづくりの事業を展開できるように、住民組織をネットワークするまちづくり事業体の充実や新規設立について検討する。

●住民組織による収益事業の実施

・まちづくり事業体が実施する事業では、活動の持続可能性を担保するために、収益を確保できるようにする。

●地元の意識を高める勉強会の開催

・市民協働のまちづくりを推進するため、まちづくりの専門家を講師とする勉強会を定期的に開催する。

市民協働のまちづくりを推進
（世界遺産登録決定セレモニーの様子）

③地域防災体制の強化

●災害時の市民・来訪者の安全確保に向けた地域防災体制の強化

・災害時に市民とともに来訪者の安全を確保できるように、避難所までの誘導や帰宅困難者の受入、避難マップの掲載、来訪者のための備蓄の確保、交通情報の提供など、来訪者の視点も含めた地域防災体制を整える。

第５章　境島村まちづくりビジョンの推進

５－１　まちづくり活動の主体づくり

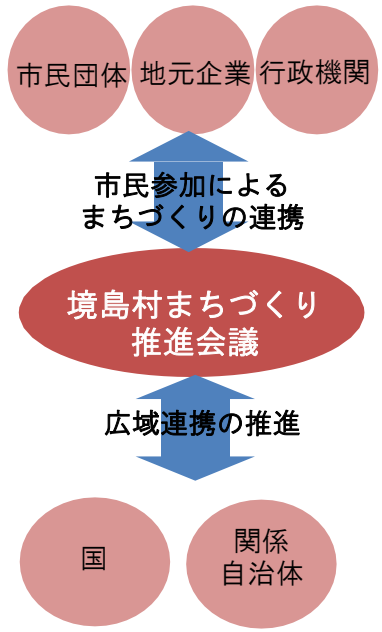
① 市民参加を推進する体制づくり

境島村まちづくり推進会議がまちづくりの中核組織となり、市民団体、地元企業及び行政機関との連携を促すことにより、市民がまちづくりに参加しやすい体制づくりを進めます。

また、市民以外でも境島村のまちづくりに協力できるサポーターづくりを検討します。

② 広域的な連携・協力体制づくり

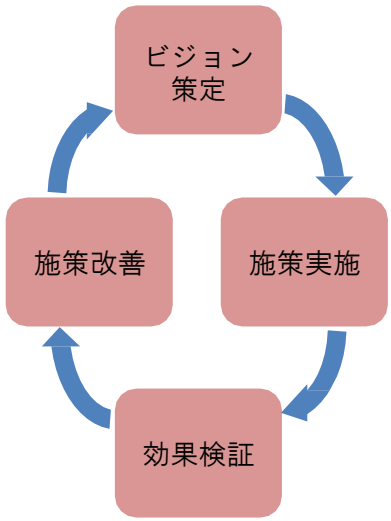
県内はもとより境島村に隣接する埼玉県本庄市、深谷市及び熊谷市との広域連携によるまちづくりに発展できるよう、伊勢崎市、関係自治体及び国の機関等との連携・協力体制づくりを進めます。



５－２　境島村まちづくりビジョンの進行管理

① 効果検証と施策改善

定期的に来訪者やまちづくり関係者に対する調査を実施することによって、目標とする市民の姿がどの程度達成できているかを把握し、必要に応じてまちづくりビジョンを見直します。

② チェック機能の強化

境島村まちづくりビジョンの進行管理においては、まちづくりの専門家によるチェック機能の強化に努めます。